

令和 7 年 11 月 21 日
教育局 高校教育課

報道関係者 各位

山形県地域産学連携シンポジウムの開催について

山形県教育委員会では、地域と産業高校が連携して、実践的な学びや人材育成を進める取り組みを推進しています。

このたび、産業高校と地域・産業界が協働し、新たな価値を共に創り出すためのヒントを共有する場として、「山形県地域産学連携シンポジウム」を下記のとおり開催します。

つきましては、当日の取材についてよろしくお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和 7 年 12 月 4 日（木） 午後 1 時 30 分から午後 4 時まで
- 2 場 所 山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング 2 階交流サロン
〒990-0076 山形市平久保 100 番地
- 3 内 容
(1) 基調講演「地域を支える人材育成と産業高校の役割」

(2) パネルディスカッション「これからの産業高校と地域の協働とは」
～山形県立村山産業高等学校における産業界・行政との連携好事例について～

(3) 全体共有・意見交換
- 4 参加対象 各学校産業教育連携協議会委員、産業界、大学等、教職員、県民の皆様等

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



<問合せ先>

教育局 高校教育課
課長補佐 黒沼 直洋
電 話 023(630)3106
広報監 教育局長 安達 晃司

「山形県地域産学連携シンポジウム」

未来を育む パートナーシップ 地域と産業高校の共創

今、地域社会が抱える多様な課題に向き合う中で、産業高校の役割があらためて注目されています。

一方で、少子化による入学者減少など、産業高校は大きな転換期を迎えています。

山形県教育委員会では、学校と地域・産業界が連携し、実践的な学びと人材育成を進めるために、「フューチャープロジェクト」や「マイスター・ハイスクール普及促進事業」を展開しています。

本シンポジウムでは、産学連携が生徒の成長を支え、地域産業に新たな価値を生み出す可能性を探ります。

実践者の声や成功事例を通して、学校と地域が共に活かす「未来づくりのかたち」を考える場です。

ぜひ、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

参加費
無料

現地参加又は
オンライン参加
選べます。

お申し込み方法

参加方法および申し込みは
専用WEBサイトから

<https://forms.gle/NoYLZGfuxpegsCfi9>

申し込み締切：11月28日(金)



2025 12 / 4 木

13:30-16:00 開場 13:00

〒990-0076 山形市平久保100番地

山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング 2階交流サロン

プログラム

13:30~13:35 開会挨拶

13:35~14:25 基調講演

14:35~15:25 パネルディスカッション

15:30~15:50 全体共有・意見交換

15:50~15:55 閉会挨拶

パネリスト

廣田 拓也 氏 (株)ソフィア 代表取締役

佐藤 修司 氏 (株)三和技術コンサルタント 代表取締役

井澤 豊隆 氏 山形県村山市学校統合推進員

坂井 孝朗 氏 山形県立村山産業高等学校長

伊藤 久敏 氏 山形県教育局高校教育課長

問い合わせ先:山形県教育局高校教育課

TEL:023-630-3067 mail:ykoko@pref.yamagata.jp

本シンポジウムは、文部科学省「マイスター・ハイスクール普及促進事業」の一環として実施します。

基調講演 13:35~14:25

演題:地域を支える人材育成と産業高校の役割

米国系IT企業の経営に従事した後に、2001年にソフィアを設立。

「人と組織を元気にする」をミッションに、インターネットコミュニケーション、インターネットブランディングに関わるサービスを開発し、提供している。現在は、大手中堅企業に向けた組織開発・人材開発や従業員エクスペリエンスの向上、サービスデザインによる顧客志向組織への変容、デジタルトランスフォーメーションに備えた組織変容を提唱。2021年、島根県松江市に新会社「ソフィアクロスリンク」を立ち上げ、企業・行政・教育分野がそれぞれ越境し、相互の学びと価値創出を生み出すために協働する「越境デザイン」に注力している。

文部科学省マイスター・ハイスクール事業の伴走事業を受託し、全国の産業高校における産学連携をサポートするとともに、一層の充実に向けて奔走している。

講師・パネリスト

廣田 拓也 氏



株式会社ソフィア 代表取締役社長
チーフコミュニケーションオフィサー

ペルソナ&カスタマ・エクスペリエンス学会 常任理事
共著「コーポレート・コミュニケーション・デザイン入門」(英治出版)
共著「実践ペルソナ・マーケティング」(日本経済新聞出版)
文部科学省 マイスター・ハイスクール 伴走支援事業
島根県教育委員会 コンソーシアム協働体制構築支援、DXハイスクール 域内横断事業支援
埼玉県教育委員会教育振興基本計画策定有識者会議、学校における働き方改革基本方針策定 有識者会議
佐賀県玄海町・唐津青翔高校コンソーシアム運営支援
島根県立島根中央高等学校 コンソーシアム外部評価委員

パネルディスカッション 14:35~15:25

テーマ:これからの産業高校と地域の協働とは
～山形県立村山産業高等学校における産業界・行政との連携好事例について～

パネリスト



佐藤 修司 氏

(株)三和技術コンサルタント
代表取締役

地域活性化のために、地域の学校との連携を積極的に展開している。
村山産業高等学校には、同社技術者による農業用ドローンの実演や講習の実施、地域活性化のために同社が開設した飲食店やゲストハウスなどが同居する複合施設「sun+nane (さんなね)」内に同校のサテライトスペースを提供いただくなど、地域との連携に多大な貢献をいただいている。



井澤 豊隆 氏

山形県村山市教育委員会
学校教育課 学校統合推進員

山形県村山市政策推進課長・学校教育課長・生涯学習課長(等)を歴任。
政策推進課長時代に、村山産業高等学校の地域みらい留学県外生受け入れにあたり、居住費補助などの支援体制を整え、「村山産業高等学校県外志願者受入促進事業」、学校教育課長時代に、通学バス助成制度の導入に尽力いただいた。



坂井 孝朗 氏

山形県立村山産業高等学校長

庄内農業高等学校長、上山明新館高等学校教頭、置賜農業高等学校教頭を歴任。
現在、積極的に地域、産業界、大学等との連携を推進しており、企業等との連携協定の締結や、山形大学農学部、東北農林専門職大学と農業系高等学校との連携協定締結に尽力した。
近年、同校生徒の産学連携による探究学習の成果が際立っている。



伊藤 久敏

山形県教育局高校教育課長
(前山形県立村山産業高等学校長)

村山産業高等学校長、東桜学館高等学校教頭、村山産業高等学校教頭、県教育庁高校教育課高校改革推進室長補佐を歴任。
同校産業教育連携協議会の立ち上げに当たり、産業界や行政等との連携の実現に取り組んできた。
現在、高校教育課長として、産業高校の産学連携に注力している。